

委員からのご意見（抜すい版）

項目	最新版	内容趣旨	ご意見
1	-	計画・施策の理念・原理について	<p>・計画、施策には「そもそもの理念・原理」が重要だと思っている。</p> <p>・児童虐待の増加や家庭の養育力の問題は、個人モデルの考え方（個々の親や家庭の養育力、意識、経済力などの力量や努力が原因）ではなく、社会モデルの考え方（子育てにおける家庭の責任が大きくなる中、経済的、情報、社会関係の格差が進み、周囲の支援を受けにくい社会）が原因で理解し、対応を考える必要があると理解している。</p> <p>・つまり、「家庭の養育力の問題」ではなく「社会的な養育環境格差の問題」ととらえなおす必要がある。</p> <p>・また、児童福祉法の改正により同法の原理は全ての法令の施行に尊重されなければならないとあるので、道の計画もこの原理にのっとる必要があるのではないか。</p> <p>【児童福祉法（抜すい）】</p> <p>第1条 全て児童は、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され、保護されること、その心身の健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉を等しく保障される権利を有する。</p> <p>第2条 全て国民は、児童が良好な環境において生まれ、かつ、社会のあらゆる分野において、児童の年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮され、心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない。</p> <p>2 児童の保護者は、児童を心身ともに健やかに育成することについて第一義的責任を負う。</p> <p>3 国及び地方公共団体は、児童の保護者とともに、児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う。</p> <p>第3条 前二条に規定するところは、児童の福祉を保障するための原理であり、この原理は、すべて児童に関する法令の施行にあたって、常に尊重されなければならない。</p>
2	-	親へ努力や責任を求める文言が多いので、社会がサポートできる方向性へ	<p>・保護者を追い詰めかねない方向性が残っている。保護者の努力や力量に関係なく社会がサポートできる方向性にしてほしい。</p>
3	-	困難を有する子どもについて発想の転換が必要	<p>・「子供や家庭に原因があり困難を有する」という発想から、「社会の理解や支援など環境に原因があり困難を有する」という発想への転換が必要だが、両者が混在している。困難の「未然防止」や「環境づくり」の考え方も取り入れてはどうか。</p>
4	-	時代背景、生活様式、価値観の変化を踏まえられていないところがある	<p>・24時間営業の店、ネットでいつでも動画、困ったときはネットで調べるのが当たり前の時代背景などの変化を踏まえられていないところがある。</p>

委員からのご意見

項目	最新版	内容趣旨	ご意見
1	—	計画・施策の理念・原理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画、施策には「そもそもの理念・原理」が重要だと思っている。</li> <li>・児童虐待の増加や家庭の養育力の問題は、個人モデルの考え方（個々の親や家庭の養育力、意識、経済力などの力量や努力が原因）ではなく、社会モデルの考え方（子育てにおける家庭の責任が大きくなる中、経済的、情報、社会関係の格差が進み、周囲の支援を受けにくい社会）が原因で理解し、対応を考える必要があると理解している。</li> <li>・つまり、「家庭の養育力の問題」ではなく「社会的な養育環境格差の問題」ととらえなおす必要がある。</li> <li>・また、児童福祉法の改正により同法の原理は全ての法令の施行に尊重されなければならないとあるので、道の計画もこの原理にのっとる必要があるのではないかと。</li> </ul>
2	—	親へ努力や責任を求める文言が多いので、社会がサポートできる方向性へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者を追い詰めかねない方向性が残っている。保護者の努力や力量に関係なく社会がサポートできる方向性にしてほしい。</li> </ul>
3	—	困難を有する子どもについて発想の転換が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子供や家庭に原因があり困難を有する」という発想から、「社会の理解や支援など環境に原因があり困難を有する」という発想への転換が必要だが、両者が混在している。困難の「未然防止」や「環境づくり」の考え方も取り入れてはどうか。</li> </ul>
4	—	時代背景、生活様式、価値観の変化を踏まえられていないところがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24時間営業の店、ネットでいつでも動画、困ったときはネットで調べるのが当たり前時代の背景などの変化を踏まえられていないところがある。</li> </ul>
5	—	「望ましい」という表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各個人の世代、地域、文化背景の違いによって異なるため、「望ましい」という言葉で表現すると公的な存在が「正しい、あるべき姿」を押しつけてしまうことに繋がりがかねない。「望ましい」という表現を使わずに伝えたい内容を表現できないか。</li> </ul>
6	—	「親」、「保護者」という言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人モデル（ここの親や家庭の養育力、意識、経済力などの力量や努力に関係するもの）にならないように気をつける。</li> </ul>
7	—	「家族・家庭への支援」に関する内容の配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人モデル的な発想で「親の努力」を問う内容にならないように</li> <li>・子供を親や家庭と一体的に考えるのではなく、子供の権利保障と子供の最善の利益、自立の発想を取り入れること</li> </ul>
8	31	乳幼児期の説明について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母親や父親などに安心感や信頼感の中で</li> <li>→母親や父親などの身近な大人から信頼感や安心感を得られる中で</li> </ul>
9	32	乳幼児期の家庭における教育力について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人モデル的な記載内容であることから、家庭による「保護」や「教育の格差」が生じないように社会環境整備を推進する、と記載できないか。</li> </ul>
10	32	乳幼児期の食育について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「望ましい食習慣」や「家族関係の形成を図る」といった記載内容</li> <li>→「健康的な食習慣を獲得するための機会保障」や「豊かな人間関係の形成を図る」といった文言に修正できないか</li> </ul>
11	32	乳幼児期の困難を有する子どもを支援する環境づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困難を抱える子どもへの、地域社会における「偏見」「差別」そこからくる「同情」「慈悲」のようなまなざしが当事者を追い詰めている。</li> <li>→「障がいや虐待など子育てに生じる困難は地域の理解やまなざしによって大きく影響を受けます。そもそもどんな人でも親だけで完璧に子育てができるわけではないという前提のもと、困難を抱える子育てであればなお周囲を頼ることが自然なことであると、周囲がその困難を理解し、特別視せず、見守り、声をかけ、支えることができる地域づくりを進めます」といった内容を追記できないか。</li> </ul>
12	34	学童期の説明について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大人の言うことを守る中で」</li> <li>→「様々な大人と関わることやモデルとなる大人と出会うことで」</li> </ul>
13	34	安心して子どもを育てられる環境づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者、子育て経験者などのボランティアによる地域レベルの子育て経験者に身近なサポートを求めるのは非現実的</li> <li>→「（そのサポートの他に）インターネットやSNSを通じて気軽に正しい情報を得ることができる情報レベルでの子育てを支えるしくみ作りの推進に努めます」等はどうか。</li> </ul>
14	34	豊かな心と健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に「個人モデル」。また、道徳教育や読書活動で規範意識や基本的な倫理観、自己肯定感、思いやりの心や豊かな感性を育むのだろうか。</li> <li>→「青少年の基本的な生活習慣の形成には、家庭内の環境が大きな影響を与えます。生活様式の変化により、子どもたちの生活習慣は変わっています。不規則な生活や朝食を食べないなどの生活習慣は、学習意欲や体力・気力の低下の要因であることが指摘されています。生活様式の変化を踏まえ、青少年の成長・発達にとって望ましい生活習慣が保障できるように取組を進めていく必要があります。</li> <li>また、多様な大人との出会いを伴う、読書、文化芸能、スポーツ、自然体験、多文化共生など豊かな体験的な活動を通じ、規範意識や基本的な倫理観、自己肯定感、共感の気持ちや協同性、豊かな感性を育むための教育を推進します。としてはどうか。</li> </ul>

項目	最新版	内容趣旨	ご意見
15	34 41	家族のふれあい時間の増進	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全体的に「個人モデル」 →核家族化、共働き世帯の増加など大人社会の多忙さや余裕のなさなどの影響により、家庭など身近なコミュニティにおいて大人と子どもがお互いを尊重し、共に食事をしながら語らう、一緒に遊ぶなどの機会が減少していることから、（中略）家庭など身近なコミュニティにおいて対話時間を増やせる などとしてはどうか。</li> </ul>
16	35	基本的な生活習慣の習得①	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保護者が子どもの望ましい生活習慣や学習習慣について学んだり →保護者が子どもの成長・発達にとって望ましい生活習慣や学習習慣について考えたり、気付いたりなど主体的に学ぶことができる機会や、・・・ などとしてはどうか。</li> </ul>
17	35	基本的な生活習慣の習得②	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「親子で運動に親しむ」 →子どもだけでも楽しめるものも必要と考え、「親子若しくは子どもだけでも運動に親しむことができる機会」としてはどうか</li> </ul>
18	35	基本的な生活習慣の習得③	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「望ましい生活習慣の定着に向けた取組」 →「生活習慣を振り返り、考える機会の提供により生活習慣への意識を高める取組」としてはどうか</li> </ul>
19	35	基本的な生活習慣の習得④	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう」 →「食生活について考える機会や食に対する正しい情報や知識の提供により、食生活に対する意識を高めることができるよう」としてはどうか</li> </ul>
20	36	学校等における性教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「学校等における性に関する指導を行うほか、SNSの利用等による性的被害の防止について啓発活動の推進に努めます」 →時代背景への考慮が少ないため、「学校等において人権教育の一環として性についてともに考え、話し合う機会を提供するほか、性的被害や搾取の実態について社会的背景を踏まえて考え、伝える活動の推進に努めます」</li> </ul>
21	36	困難を有する子どもを支援する環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 毎日の生活の安定に向けた生活支援に取り組みます という文言を乳幼児期にも入れられないか</li> </ul>
22	38 45	社会参加に向けた望ましい勤労観、関心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「望ましい」という文言はいらないのでは。</li> </ul>
23	39	情報化社会への対策①	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 道徳の授業などで情報モラル教育の充実を図り、また保護者に対する啓発にも取り組む、とあるが、課題のとらえ方が時代背景を反映させていない →学校等において、情報化社会の特徴やメリット・デメリット、モラルなどについて考え、正しい知識を得ることができる教育機会の充実を図ると共に、啓発資料の配付など、保護者に対しても考える機会や知識の提供ができるような普及啓発に取り組みます。 などとしてはどうか</li> </ul>
24	40	情報化社会への対策②	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 情報モラル、ルールの指導と併せ、携帯電話やネットの危険性の指導や教員の研修の充実を図る、としているが、課題のとらえ方と方法が時代背景を反映していない → 情報モラルやルール、携帯電話やインターネット等の危険性について児童が主体的に考え、経験を含めて話しあえるような機会や教員の研修の充実を図ります などとしてはどうか</li> </ul>
25	42	豊かな心と健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ”権利主体としての子ども”の相談・学習機会の視点が無い。思春期に「自分の問題」として相談できる機会保障が大切 →生活における悩みや課題などに対し、臨床心理士、公認心理師等による専門的な相談等を相談できる窓口の体制を整備するほか、地域やSNSなど家庭や学校以外の場で気軽に悩みを打ち明けたり、生活課題やスキルについて学んだりする機会の充実を図るための情報提供に努めるなど、子どもが生活課題の解決主体となるための支援体制を整備します などとしてはどうか</li> </ul>
26	42	基本的な生活習慣の習得①	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「子どもの望ましい」 →「子どもの成長・発達にとって望ましい」としてはどうか</li> </ul>
27	42	基本的な生活習慣の習得②	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「子どもたちに運動やスポーツの楽しさを実感させる」 →権利主体としての子ども扱いではないことから、「子どもたちが運動やスポーツの楽しさを実感できる」としてはどうか</li> <li>• 保護者の理解を促進し、家庭における運動習慣や生活習慣の改善を図ります →家庭に対して個人モデル発想であることから、「保護者を含む大人の理解を促進し、家庭や地域が運動習慣や生活習慣について振り返り、考えることができる環境づくりを進めます」としてはどうか</li> </ul>
28	42	基本的な生活習慣の習得③	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 冒頭の「全国学力・学習状況調査」の内容は不要では。</li> <li>• 「望ましい生活習慣の定着に向けた取組」 →「生活習慣を振り返り、考える機会の提供により生活習慣への意識を高める取組」などとしてはどうか</li> </ul>

項目	最新版	内容趣旨	ご意見
29	42	生きる力を育む活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「性に対する正しい知識を習得し、適切な判断や行動ができる力を育む」 →大人の課題に全く触れていないことから「人権教育の一環として性に対する正しい知識を習得し、適切な判断や行動ができる力を育むために、大人が自らの性の意識を振り返り、モデルとなって性について学び、真剣に考える姿勢を示すほか」 などとしてはどうか</li> </ul>
30	43	困難を有する子どもを支援する環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期は心の問題が大きくなる時期でもあるため、最後に「抑圧経験・トラウマ」「理解や支援不足」による二次障害であることに言及する必要があるのではないかと考える。 →「障がいや虐待、貧困などマイノリティにとって思春期の困難は「心の問題」として多く現れます。社会の無理解や差別、偏見や支援の不足などからくる逆境体験の二次的障害としてより大きな困難が起こらないための未然防止や早期発見、早期対応など相談体制の充実や二次障害が起こる背景や特有の症状や言動について理解を推進していきます。」 といった文言を最後に追記してはどうか</li> </ul>
31	46	非行防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲酒や喫煙、薬物へと至る理由や背景への言及がなく、結果だけを悪いこととして健康被害などの情報によって恐怖を与え、取り締まろうとする発想は時代背景を踏まえていない。国際的にも懲罰や啓発ではなく支援が推進されつつある現状である。 →「単に悪いからやめさせようとするだけではなく、そうした行為に至った心理的、社会的、環境的な背景を理解した上で、家庭環境や生活の改善に向けての支援体制の整備を進めていきます」といった文言を取り入れてはどうか</li> </ul>
32	47	犯罪からの立ち直り支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「立ち直り」という表現が個人モデル。非行の背景への言及がないので次のとおりとしてはどうか →タイトル：犯罪行為等からの脱却と自立支援の充実 →内容：非行少年等が再び非行等を犯すことがないように、非行に至った背景を理解し、各関係機関、関係者等地域が一体となって、非行少年等が地域生活を送ることができるような生活支援、就労支援、教育機会の保障など、自立に向けた総合的な支援の促進に努めます。</li> </ul>
33	47	青少年を犯罪被害から守る環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉を害する犯罪への対策 ・情報化社会への対策 →一方的な指導や啓発などの方法を、「権利主体、学習主体としての子ども・家庭」としてとらえ、「自ら気づき、学ぶことができる機会保障」「学校、保護者、子ども、関係機関など上下関係ではなく、ともに意識を持って考える方向性」を取り入れるとしてはどうか</li> </ul>